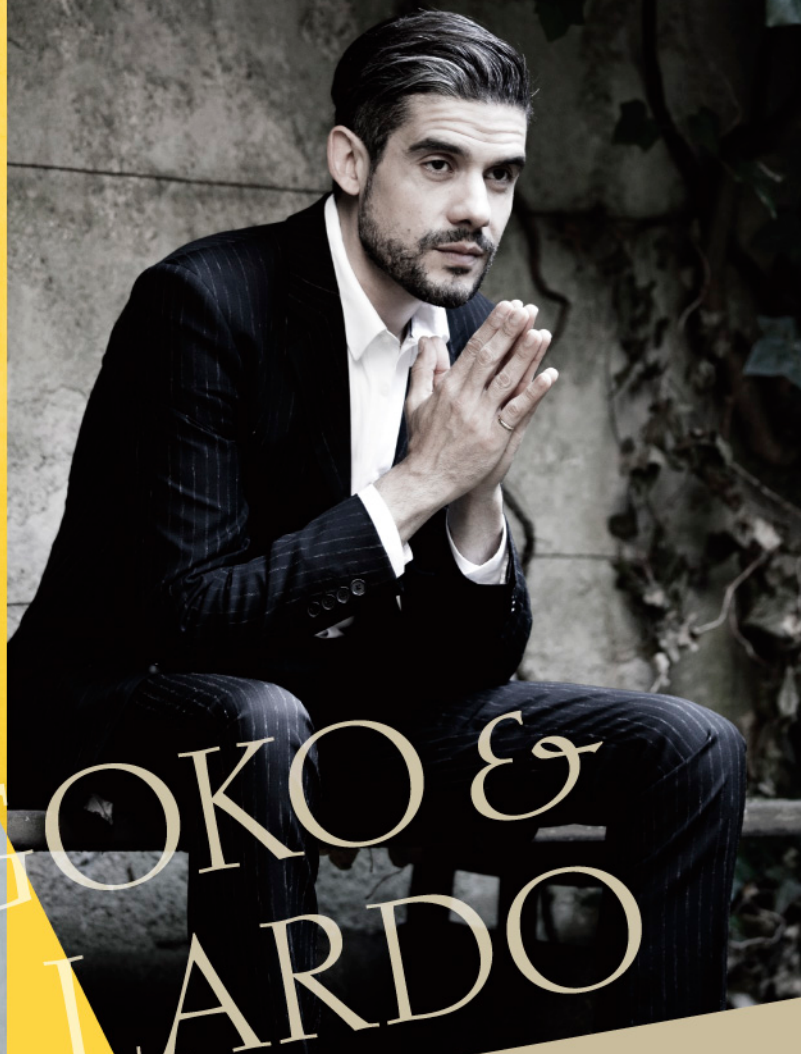


デュオの可能性を
追求する鬼才たち



SUNAO GOKO & JOSÉ GALLARDO

郷古 廉^(ヴァイオリン) & ホセ・ガヤルド^(ピアノ) デュオ・コンサート Duo Concert

2022

12/6 [火] 19:00開演 (18:30開場)

京都コンサートホール
アンサンブルホールムラタ

全席指定：一般 4,500円／会員* 4,000円

*会員：京都コンサートホール・ロームシアター京都Club (年会費 1,000円) と京響友の会の会員が対象。

会員先行：8/20(土) 10:00～

一般発売：8/27(土) 10:00～

※出演者、曲目は都合により変更になる場合がございます。※やむを得ない事情により公演が不可能になった場合は、当該公演であらかじめ定めた入場料金を返金いたします。※公演中止以外の出演者、曲目等の変更による払戻しはいたしませんのであらかじめご了承ください。※お支払い後のキャンセルや座席の変更はお受けできません。※未就学児の入場はご遠慮ください。※チケットの転売は固くお断りいたします。万が一そのような行為が頻繁に見受けられた場合、転売席のチケットをお持ちのお客様にご本人確認を行い、ご入場をお断りする場合もございますので、予めご了承ください。

主催：ヒラサ・オフィス 共催：京都コンサートホール(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)・京都市 後援：村田機械株式会社

シマノフスキ：神話 op.30

Szymanowski: Mythes, op.30

プーランク：ヴァイオリン・ソナタ FP 119

Poulenc: Violin Sonata, FP 119

シューマン：3つのロマンス op.94

Schumann: 3 Romances, op.94

ベートーヴェン：ヴァイオリン・ソナタ第9番 イ長調「クロイツェル」 op.47

Beethoven: Violin Sonata No.9 in A Major, op.47, "Kreutzer"

●チケットのご予約・お問合せ

京都コンサートホール 075-711-3231

※10:00～17:00/第1・第3月曜日休(休日の場合は翌平日)

●24時間いつでも!

オンラインチケット購入 京都コンサートホール

検索

●プレイガイド

e+ (イープラス) eplus.jp

ロームシアター京都 075-746-3201 (10:00～19:00/年中無休[臨時休館日を除く])

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、短縮営業する場合あり



2022年12月にデビュー15周年を迎える郷古がお届けする、ベートーヴェンの名曲「クロイツェル」を中心としたプログラム。ソリストのみならずNHK交響楽団ゲスト・アシスタント・コンサートマスターとしての活躍や、コンサート会場だけでなく、「題名のない音楽会」、東急ジルベスター公演など、テレビを通して、そしてTwitterなどSNSを通して演奏を届けている郷古の新たなチャレンジ。

2018年にアンドレアス・オッテンザマーを加えたトリオ公演で初共演し、意気投合した郷古廉&ホセ・ガヤルド。ベテラン、ホセ・ガヤルドの自由闊達なピアノと、ベートーヴェンのヴァイオリン・ソナタ全曲演奏会を3年かけて行い更なる磨きをかけた郷古との、新たな化学反応をお楽しみください。

SUNAO GOKO



JOSÉ GALLARDO

郷古 廉 (ヴァイオリン) Sunao Goko, violin

2013年8月ティボール・ヴァルガシオン国際ヴァイオリン・コンクール優勝ならびに聴衆賞・現代曲賞を受賞。現在、国内外で最も注目されている若手ヴァイオリニストのひとりである。

1993年生まれ。宮城県多賀城市出身。2006年第11回ユーディ・メニューイン青少年国際ヴァイオリンコンクールジュニア部門第1位(史上最年少優勝)。2007年12月のデビュー以来、読売日響、大阪フィル、名古屋フィル、仙台フィル等を含む各地のオーケストラと共演。共演指揮者にはゲルハルト・ボッセ、フランソワ・グザヴィエ・ロト、秋山和慶、井上道義、下野竜也、山田和樹、川瀬賢太郎各氏などがある。《サイトウ・キネン・フェスティバル松本》、《東京・春・音楽祭》、《ラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポン》にも招かれている。また2017年より3年かけてベートーヴェンのヴァイオリン・ソナタ全曲を演奏するシリーズにも取り組んだ。

これまでに勅使河原真実、ゲルハルト・ボッセ、辰巳明子、バヴェル・ヴェルニコフの各氏に師事。国内外の音楽祭でジャン・ジャック・カントロフ、アナ・チュマチェンコの各氏のマスタークラスを受ける。

2014年にEXTONレーベルより無伴奏作品によるデビューCDをリリースし、2015年にはnascorレーベルよりブラームスのヴァイオリン・ソナタ集を、2020年1月にはEXTONレーベル第4弾となる「ベルギー・アルバム」をリリースした。

使用楽器は1682年製アントニオ・ストラディヴァリ(Banat)。個人の所有者の厚意により貸与される。2019年第29回出光音楽賞受賞。2022年4月、NHK交響楽団ゲスト・アシスタント・コンサートマスターに就任。

ホセ・ガヤルド (ピアノ) José Gallardo, piano

ブエノスアイレス生まれ。5歳の時にブエノスアイレスの音楽院でピアノを学び始め、その後マインツ大学音楽学部でボルディ・ミルドナー教授に師事、同大学を卒業した。在学中、室内楽に情熱を抱くようになり、メナヘム・プレスラー、アルフォンソ・モンテシーノ、カール・ハインツ・ケマリンク、セルジュ・チェリビダッケ、ロザリン・テューレック、バーナード・グリーンハウスから音楽的影響を受けている。

国内外で数多くの賞に輝き、ロッケンハウス室内楽フェスティバル、ヴェルビエ音楽祭、ルツェルン音楽祭、シュヴェツィンゲン音楽祭、シュレースヴィヒ=ホルシュタイン音楽祭、クロンベルク・チェロ音楽祭、ラインガウ音楽祭など多くの音楽祭に招かれる。

ヨーロッパ、アジア、イスラエル、オセアニア、南米で頻繁にコンサートや室内楽活動をする中で、ギドン・クレーメル、ベンヤミン・シュミット、アンドレアス・オッテンザマー、ミクローシュ・ペレーニ、石坂団十郎等との共演を果たし、またベルリン・フィルハーモニー、チューリッヒ・トーンハレ、ロンドンのウィグモア・ホール、ウィーン楽友協会、ハンブルク音楽堂、フィレンツェのデッラ・ペルゴラ劇場、ローマ聖チェチリア音楽院などで演奏した。

EMI、ヘンスラー、チャレンジ・レコード、ナクソスなどからCDをリリース。SWR、BBCIをはじめとするテレビ、ラジオ番組のための録音でも活躍している。

1998年から2008年にかけてマインツ大学音楽学部で教鞭をとり、2008年秋からはアウクスブルク大学のレオポルト・モーツァルト・センターで後進の指導にあたっている。